

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 10 月 1 日 (2009.10.1)

【公表番号】特表 2009-504886 (P2009-504886A)

【公表日】平成 21 年 2 月 5 日 (2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報 2009-005

【出願番号】特願 2008-527076 (P2008-527076)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 9/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 9/04

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 8 月 11 日 (2009.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 以上の熱可塑性ポリマーを含むマトリックス基材；および
前記マトリックス基材中に分散された複数の粒子を含む分散粒子組成物を含む少なくとも 1 つの層を含む包装材であって、前記粒子が、
シリケートプレートレット；および
前記シリケートプレートレットに吸着されたインターカレート剤を含み、前記インターカレート剤が 1 以上のリン脂質を含む、包装材。

【請求項 2】

1 以上のリン脂質が、1 以上の窒素含有ホスホグリセリドから選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 3】

1 以上のリン脂質が、1 以上のコリングリセロリン脂質から選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 4】

1 以上のリン脂質が、1 以上のコリングリセロリン脂質のジアシル誘導体から選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 5】

1 以上のリン脂質が、1 以上のホスファチジルコリンから選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 6】

1 以上のリン脂質が、1 以上のコリングリセロリン脂質のモノアシル誘導体から選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 7】

1 以上のリン脂質が、1 以上の 1 - リソホスファチジルコリンおよび 2 - リソホスファチジルコリンから選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 8】

1 以上のリン脂質が、1 以上のコリンプラズマロゲンから選択される、請求項 1 に記載

の包装材。

【請求項 9】

1 以上のリン脂質が、1 以上の硫黄含有ホスホグリセリドから選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 10】

1 以上のリン脂質が、1 以上のスルホコリングリセロリン脂質から選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 11】

1 以上のリン脂質が、1 以上のエタノールアミンリン脂質から選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 12】

1 以上のリン脂質が、1 以上のエタノールアミングリセロリン脂質から選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 13】

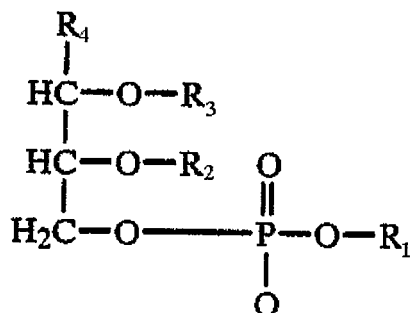
1 以上のリン脂質が、1 以上のホスファチジルエタノールアミンから選択される、請求項 1 に記載の包装材。

【請求項 14】

1 以上のリン脂質が、式 (I)、

【化 1】

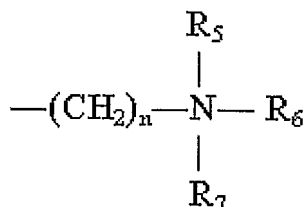
(I)



(式中、 R_1 は、式、

【化 2】

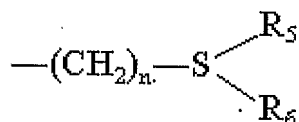
(II)



により表される四級化アミノ基または式、

【化 3】

(III)



(式中、 R_5 、 R_6 、および R_7 はそれぞれ独立して、水素もしくは1～4個の炭素原子のアルキルを表し、ならびに n は2～6の整数である)

により表される硫黄基を表し；

R_2 および R_3 は、独立して、水素、2個の炭素原子を有するアシル基、14～20個の炭素原子を有するアルキル、アルケニル、またはアルカジエニル基、もしくは長鎖脂肪酸のアシル残基を表す、ただし、 R_2 および R_3 の少なくとも1つは長鎖脂肪酸のアシル残基であるとする；および

R_4 は水素、低級アルキル基、または低級アルケニル基である)

により表される1以上のホスホグリセリドから選択される、請求項1に記載の包装材。

【請求項15】

複数の粒子が、少なくとも1つの寸法において100nm未満の平均サイズを有する、請求項1～14のいずれか一項の包装材。

【請求項16】

分散粒子組成物が、分散粒子組成物の少なくとも約0.1重量%の粒子を含む、請求項1～15のいずれか一項の包装材。

【請求項17】

シリケートプレートレットがベントナイト粘土由来である、請求項1～16のいずれか一項の包装材。

【請求項18】

少なくとも1つの層が、少なくとも1つの層の約50重量%の熱可塑性ポリマーを含む請求項1～17のいずれか一項の包装材。

【請求項19】

1以上の熱可塑性ポリマーが、ポリオレフィン、エチレン/ビニルアルコールコポリマー、イオノマー、ビニルプラスチック、ポリアミド、ポリエステル、およびポリスチレンから選択される、請求項1～18のいずれか一項の包装材。

【請求項20】

食品；および

請求項1～19のいずれか一項の包装材を含む、食品を封入するパッケージを含む、包装された食品。

【請求項21】

請求項1～19のいずれか一項の包装材の作製方法であって、

層状シリケートおよび層状シリケートの層間に吸着された1以上のインターカレート剤を含むインターカレート層状シリケートを形成し(ここで、1以上のインターカレート剤は、1以上のリン脂質から選択される)；

インターカレート層状シリケート約0.1～約100重量部を1以上の熱可塑性ポリマーを含むマトリックス基材100重量部と混合して、混合物を形成し；

マトリックス基材100重量部あたり、剥離粒子少なくとも約0.1重量部を含む分散粒子組成物を形成するために十分なエネルギーを混合物に加え；

分散粒子組成物を含む包装材を形成することを含む、作製方法。